

【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～都筑の丘に大塚・歳勝土遺跡と富士塚を訪ねる～

日時：2023年12月20日（水）23日（土）10:00～14:30

場所：横浜市

参加者：一般39名（20日26名、23日13名）スタッフ12名

午前には都筑民家園、大塚・歳勝土遺跡公園、茅ヶ崎城址公園を見学しました。横浜市営地下鉄センター南駅前で昼食後、午後は、川和富士公園を見学し、横浜市営地下鉄都筑ふれあいの丘駅で解散としました。

横浜市営地下鉄センター北駅に集合し、江戸時代の民家「旧長沢家住宅」を移築、復元した都筑民家園に向かいました。民家園では、「旧長沢家住宅」の母屋などを見学しました。園内では、キチジョウソウの花を観察することができました。また、この冬、初めて、霜柱を踏みながら園内を歩きました。

都筑民家園から尾根に上がり、大塚・歳勝土遺跡公園を訪ねました。始めに、弥生時代の環濠集落を再現した大塚遺跡、次に、方形周溝墓を再現した歳勝土遺跡を見学しました。大塚遺跡では、復元された環濠、竪穴住居跡、茅葺きの竪穴住居や高床式倉庫を、歳勝土遺跡では、復元された方形周溝墓を見学しました。方形周溝墓は、四方を溝で囲まれたマウンドの中央に死者を葬ったムラ人のお墓で5基が復元されていました。

鶴見川支流の早淵川に沿って散策し、茅ヶ崎城址公園に向かいました。茅ヶ崎城址公園では、郭、土塁、住居跡、空堀などを見学しました。また、ハリギリ、シラカシ、ムクノキ、エノキ、シュロ、サルトリイバラ等を観ることができました。

横浜市営地下鉄センター南駅前で昼食の後、横浜市営地下鉄に乗り、都筑ふれあいの丘駅へ移動。都筑ふれあいの丘駅から川和富士公園に向かいました。

川和富士公園では、川和富士が移設、復元されています。初代の川和富士は、江戸時代末に造営された富士塚で、川和富士公園より北西200mほどの場所にありましたが、港北ニュータウン造成のために取り壊され、現在地に移設、復元されました。川和富士の山頂からは、多摩丘陵、丹沢山地、富士山、奥多摩から秩父の山々、ランドマークタワーなどを眺めることが出来ました。

川和富士から下山の後、クスノキ、シラカシ、カツラ、コブシなどの樹木を観ながら都筑ふれあいの丘駅まで散策。都筑ふれあいの丘駅前で解散としました。

二日間とも、この冬一番強い寒気の影響で寒かったですが、快晴。冬の都筑の丘での植物観察と史跡めぐりを楽しむことができました。

（大橋記）



都筑民家園「旧長沢家住宅」の母屋と馬屋の見学



都筑民家園「旧長沢家住宅」の母屋内を見学



大塚遺跡で復元された高床式倉庫を見学



大塚遺跡で復元された竪穴住居を見学

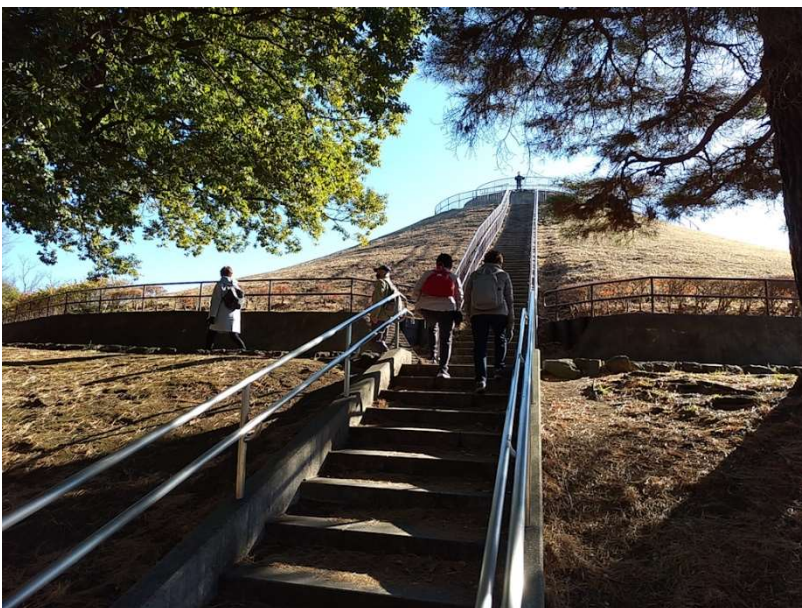
茅ヶ崎城址公園へ



茅ヶ崎城址中郭で建物跡や土塁を見学



川和富士を登る





川和富士山頂より丹沢山塊と富士山を眺める